

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

(就学前児童用)



調査ご協力のお願い

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

羽曳野市では「子ども・子育て関連3法」に基づき、教育・保育・子育て支援をさらに充実させるために、2020年度から5年間を計画期間とした「はびきのこども夢プラン」を策定致します。

このため、事業計画策定に向け、市民の皆様の子育ての状況や子育て支援、少子化対策に関するご要望・ご意見などを把握すべく、「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を行います。

この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんを無作為に1,300人抽出し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・府の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用することは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

羽曳野市長 **北川 嗣雄**

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。設問に「封筒のあて名のお子さんのことについて」とあればそのお子さんについて、何も記載がない場合は、ご家庭のすべてのお子さんについてお答えください。
2. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて2月3日(日)までにご投函ください。
3. 最後のページに用語集を用意しています。★印をつけた言葉は用語解説に記載していますので、ご参照ください。
4. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
5. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、**24時間制**(例：午後6時→18時)でご記入ください。
7. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印に従って**ご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
8. 本調査の結果は市のホームページ等を通して公表させていただきます。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

【お問い合わせ先】 羽曳野市 市長公室 こども未来室 こども課

TEL 072-958-1111 (代) 【内線：1234】

封筒のあて名のお子さんご家族の状況等についてお伺いします。

問1 現在、お住まいの地域の学校区名をお答えください。（〇は1つ）

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|--------------|
| 1. 古市小学校区 | 2. 駒ヶ谷小学校区 | 3. 古市南小学校区 | 4. 西浦小学校区 |
| 5. 羽曳が丘小学校区 | 6. 白鳥小学校区 | 7. 丹比小学校区 | 8. 埴生南小学校区 |
| 9. 高鷲小学校区 | 10. 高鷲北小学校区 | 11. 高鷲南小学校区 | 12. 恵我之荘小学校区 |
| 13. 西浦東小学校区 | 14. はびきの埴生学園校区 | | |

学校区が分からない場合は、町名を記入してください（ ）

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係でお答えください。（〇は1つ）

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月をお答えください。（数字を記入）

西暦 [] 年 [] 月 生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、一番下のお子さんの年齢をご記入ください。（平成30年（2018年）4月1日現在の状況を記入）

[] 人 一番下のお子さんの年齢 [] 歳

問5 あなたが希望する子どもの数は何人ですか。（数字を記入）

[] 人

- ・希望するお子さんの人数が現在のお子さんの人数よりも多い方は問6へ
- ・それ以外の方は問7へ

問6 希望するお子さんの人数が現在のお子さんの人数より多い方にお伺いします。

現在の家庭・教育環境等においても、もう1人以上子どもを生み育てたいと思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 生み育てたいと思う | → 問7へ |
| 2. 生み育てたいとは思わない | → 問6-1へ |

問6-1 問6で「2」を選ばれた方にお伺いします。

どのような環境を整えればもう1人以上子どもを生み育てたいと思いますか。（〇は1つ）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 保育所など子どもを預かってくれる環境を整えれば生み育てたい |
| 2. 経済的な環境を整えれば生み育てたい |
| 3. 労働環境を整えれば生み育てたい |
| 4. 教育環境を整えれば生み育てたい |
| 5. 家庭環境（家族の理解等）を整えれば生み育てたい |
| 6. その他（ ） |

問7 封筒のあて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお答えください。続柄は封筒のあて名のお子さんからみた関係です。（〇はいくつでも）

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|-----------|
| 1. 父母同居 | 2. 母同居（ひとり親家庭） | 3. 父同居（ひとり親家庭） | 4. 祖母同居 |
| 5. 祖父同居 | 6. 祖母近居 | 7. 祖父近居 | 8. その他（ ） |

問8 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主にしている方はどなたですか。
続柄は封筒のあて名のお子さんからみた関係です。（○は1つ）

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他（	）

封筒のあて名のお子さんの保護者の方の就労状況についてお伺いします。

※問9、問10については、産休・育休・介護休暇中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

問9 封筒のあて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と②1年以内の希望（実現見込みがある）をお答えください。（母親、父親それぞれ○は1つ）
（ひとり親世帯の場合、母親もしくは父親の記入は不要です。）

※①現在の状況と②1年以内の希望で同様の就労状況が想定される場合は、同じ番号を選択してください。

		母親・父親の就労状況・就労希望			
		1. フルタイム 【週5日・ 1日8時間程度】	2. パート・ アルバイト 【月64時間以上】	3. パート・ アルバイト 【月64時間未満】	4. 専業主婦（夫） または就労していない
①現在の状況 （それぞれ○は1つ）	(1) 母親	1	2	3	4
	(2) 父親	1	2	3	4
②1年以内の希望 （それぞれ○は1つ）	(1) 母親	1	2	3	4
	(2) 父親	1	2	3	4

問11へ

問10へ

問10 問9の②で「4. 専業主婦（夫）または就労していない」を選ばれた方にお伺いします。◀
1年よりも先、将来的な就労希望はありますか。（○は1つ）
※「2」を選ばれた場合は、[]に数字をご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望なし）	1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望なし）
2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になった頃に就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になった頃に就労したい

問11 問9の②1年以内の希望で、「1」～「3」を選ばれた、働きたいと答えた方にお伺いします。
働きたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため 2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど） 3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため 4. 人間関係を広げたいため 5. その他（	）
---	---

問 12-4 問 12 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

現在利用している教育・保育サービスについて、①利用場所と、②利用日数・時間の（１）
現在と（２）希望をお答えください。（①は○は１つ、②は〔 〕に数字を記入）
※時間帯は24時間制でご記入ください。（例：午後6時→18時）

①利用場所	1. 羽曳野市内	2. 羽曳野市外（市町名：市・町
②利用日数・時間	（１）現在の利用状況	（２）希望する利用時間等
利用日数・時間	週 [] 日 1日 [] 時間	週 [] 日 1日 [] 時間
1日の利用の時間帯	[] 時～ [] 時	[] 時～ [] 時

問 12-5 問 12 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

現在利用している教育・保育サービスについて、利用されている理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が働いている
3. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
4. 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
5. 保護者に病気や障害がある
6. 保護者が学生である
7. その他（ ）

平日の定期的な教育・保育サービスを利用していると答えた保護者の方に、封筒のあて名のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします。（問12で「1」を選ばれた方）

問13 教育・保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。

この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育サービス（問 12-2 の選択肢を参照）が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1. あった → 問13-1へ 2. なかった → 問14へ



問 13-1 問 13 で「1. あった」を選ばれた、この1年間で病気やケガで通常の教育・保育サービスを利用できなかったことがある方にお伺いします。

この1年間に、お子さんが病気やケガで教育・保育サービスが利用できなかった際、どう対応されましたか。（①は〇はいくつでも。②は〔 〕内におおよその日数を記入）

※半日も1日とカウントします。

①対応の内容	②日数	
1. 母親が仕事などを休んで子どもをみた	年間 [] 日くらい	問 13-2 へ
2. 父親が仕事などを休んで子どもをみた	年間 [] 日くらい	
3. 親族（同居者を含む）・知人に子どもをみてもらった	年間 [] 日くらい	問 14 へ
4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	年間 [] 日くらい	
5. 病児・病後児の保育★を利用した	年間 [] 日くらい	
6. 民間事業者による訪問型サービス（ベビーシッターを利用した）	年間 [] 日くらい	
7. ファミリー・サポート・センターにお願いした	年間 [] 日くらい	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 [] 日くらい	
9. その他（ ）	年間 [] 日くらい	

問 13-2 問 13-1 で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。

その際に「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。（〇は1つ）

※「1」を選択した方は〔 〕内におおよその日数をご記入ください。

※利用の際には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

- | | |
|---|----------|
| 1. できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい → 年間 [] 日くらい → | 問 13-3 へ |
| 2. 預けたいと思わない → | 問 13-4 へ |

問 13-3 問 13-2 で「1」を選ばれた方にお伺いします。

上記の目的で子どもを預ける場合、どのサービスが望ましいと思われますか。（〇はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス |
| 3. ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてるサービス |
| 4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス |
| 5. その他（ ） |

問 13-4 問 13-2 で「2」を選ばれた方にお伺いします。

「預けたいと思わない」理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 1. 病気の子どもを家族以外に預けるのは不安 | 2. 病気の子どもは家族がみるべきである |
| 3. サービスの内容に不安がある | 4. サービスの利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 親が仕事を休んで対応できるので預ける必要はない | 8. その他（ ） |
| 9. 特に理由はない | |

幼児教育の無償化によって、平日に封筒のあて名のお子さんに定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて伺います。

問 14 封筒のあて名のお子さんに関して、現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育サービスとして、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（〇はいくつでも）

※現在国で検討を進めている「幼児教育無償化の内容」をお読みになった上でご回答ください。

【幼児教育無償化の内容】（平成30年10月時点の国の案）※この内容は確定したものではありません。

- 3～5歳児の認可保育サービス、幼稚園、認定こども園の利用は全世帯無償化
- 0～2歳児の認可保育サービス、幼稚園、認定こども園の利用は住民税非課税世帯が無償化
- 認可外保育所では、0～2歳児の住民税非課税世帯は42,000円/月まで、3～5歳児は37,000円/月まで無償化

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育所）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（主に3歳未満の子どもを概ね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの）
6. 家庭的保育（保育ママ：保育士の家庭等で子どもを預かる事業）
7. 事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
8. 市役所が認証・認定した保育施設（認可外であるが、市役所が定める基準を満たした施設）
9. その他認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてるサービス）
11. 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場
12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
13. 一時預かり事業（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス）
14. 病児・病後児保育事業（子どもの病気時の保育）
15. 企業主導型保育事業（企業が主に従業員用に運営する認可外保育施設）
16. その他（)
17. 特になし

※これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料がかかる場合があります。



封筒のあて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育サービスの利用希望についてお伺いします。

問 15 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育サービスなど（就労、介護などによる定期的な利用で一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

（土曜日、日曜日・祝日のそれぞれについて○は1つ）

※教育・保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業をさし、親族・知人による預かりは含みません。（問 14 参照）

①利用希望		(1) 土曜日 (○は1つ)	(2) 日曜日・祝日 (○は1つ)
1. 利用する必要はない → 問 16 へ		1	1
2. ほぼ毎週利用したい		2	2
3. 月に1～2回は利用したい		3	3
①利用希望で「2」「3」を選ばれた方は、 利用開始時間と利用終了時間についてお答えください		(1) 土曜日 (それぞれ○は1つ)	(2) 日曜日・祝日 (それぞれ○は1つ)
②利用開始 時間	1. 午前中	1	1
	2. 12時から15時の間	2	2
	3. 15時から17時の間	3	3
③利用終了 時間	1. 午前中	1	1
	2. 12時から15時の間	2	2
	3. 15時から17時の間	3	3
	4. 17時以降	4	4

問 16 問 16 は、封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。

夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育サービスの利用希望がありますか。（それぞれ○は1つ）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

①利用希望		(1) 長期休暇中 (○は1つ)
1. 利用する必要はない → 問 17 へ		1
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		2
3. 休みの期間中、週に数日は利用したい		3
①利用希望で「2」「3」を選ばれた方は、 利用開始時間と利用終了時間についてお答えください		(1) 長期休暇中 (○は1つ)
②利用開始 時間	1. 午前中	1
	2. 12時から15時の間	2
	3. 15時から17時の間	3
③利用終了 時間	1. 午前中	1
	2. 12時から15時の間	2
	3. 15時から17時の間	3
	4. 17時以降	4

育児休業制度など、仕事と子育ての両立についてお伺いします。

問 17 封筒のあて名のお子さんが生まれた時（その後）、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

（母親、父親それぞれ〇は1つ）

※「5」「6」を選ばれた方は、理由を【選択肢】の「1」～「15」から選んで（ ）内にご記入ください。

	(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった	1	1
2. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した	2	2
3. 現在も育児休業中である	3	3
4. 育児休業中、または育児休業後に仕事をやめた	4	4
5. 育児休業を取らずに働いた 取得しなかった理由⇒（下の【選択肢】からいくつでも）	()	()
6. 育児休業を取らずに離職した 取得しなかった理由⇒（下の【選択肢】からいくつでも）	()	()

→ 「2」以外を選択された方は、問 18 へお進みください。

【選択肢】

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 出産後すぐに仕事に復帰したかった | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育所などに預けることができた | 8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9. 配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | |
| 10. 子育てや家事に専念するため | 11. 職場に育児休業の制度がなかった |
| 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | 13. 育児休業を取れることを知らなかった |
| 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らなかった | |
| 15. その他（ ） | |

問 17-1 へ

問 17-1 問 17 で「2」を選ばれた方にお伺いします。 ←

育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」はどうでしたか。（お子さんの年齢をそれぞれ記入）

(1) 母 親（〔 〕に数字を記入）	(1) 父 親（〔 〕に数字を記入）
① 実際の復帰：〔 〕 歳 〔 〕 か月	① 実際の復帰：〔 〕 歳 〔 〕 か月
② 希望：〔 〕 歳 〔 〕 か月	② 希望：〔 〕 歳 〔 〕 か月

問 17-2 問 17 で「2」を選ばれた方にお伺いします。 ←

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（お子さんの年齢を記入）

(1) 母 親（〔 〕に数字を記入）	(2) 父 親（〔 〕に数字を記入）
〔 〕 歳 〔 〕 か月	〔 〕 歳 〔 〕 か月

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします。

国においては、少子化への取組として、働き方の改革による「仕事と生活の調和」の実現と、多様な働き方に対応した保育サービス等の子育てを支える社会的基盤の整備を「車の両輪」として進めていくこととしています。

※「仕事と生活の調和」（あなた自身が仕事と仕事以外の生活のバランスは取れていると思うか、また、仕事を持たない方は、家事・育児・介護などと、それら以外の生活（趣味や友人との付き合いなど）のバランスがとれているか）についてお考えください。

問 18 封筒のあて名のお子さんと、1日当たりどのくらい一緒に過ごしていますか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。

（①は週の平均時間を記入。②はそれぞれ〇は1つ）

（ひとり親世帯の場合、母親もしくは父親の記入は不要です。）

		(1) 母親		(2) 父親	
		平日	休日	平日	休日
①子どもと一緒に過ごす時間 (数字を記入)		1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間
②満足度	1. 十分だと思う	1	1	1	1
	2. まあまあ十分だと思う	2	2	2	2
	3. あまり十分だと思わない	3	3	3	3
	4. 不十分だと思う	4	4	4	4

問 19 1日当たり何時間くらい家事をしますか。（数字を記入）

(1) 母 親 (数字を記入)	(2) 父 親 (数字を記入)
1日当たり [] 時間	1日当たり [] 時間

問 20 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお答えください。（それぞれに〇は1つ）

(1) 現実 (〇は1つ)	(2) 希望 (〇は1つ)
1. 仕事時間を優先 2. 家事（育児）時間を優先 3. プライベート時間を優先 4. その他（ ）	1. 仕事時間を優先 2. 家事（育児）時間を優先 3. プライベート時間を優先 4. その他（ ）

問 21 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。（〇は1つ）

1. 感じる	2. まあまあ感じる
3. あまり感じない	4. 感じない
5. わからない	

問 22 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. 家族や親族の理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等）
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかに面倒をみなければならない人がいること
8. 子どもの面倒をみてくれる保育所や放課後児童クラブ★等が見つからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他（ ）

封筒のあて名のお子さんが来年度就学予定の保護者の方に、学校就学後の平日の放課後の過ごし方についてお伺いします。

※封筒のあて名のお子さんが5歳未満の方は問 26 へお進みください。

問 23 封筒のあて名のお子さんが5歳以上の方に、小学校就学後の希望等についてお伺いします。

（1）小学校1～3年生の間、（2）小学校4～6年生の間でそれぞれ希望する場所を【選択肢】から3つまで選び、週当たりの希望日数をお答えください。

（1）小学校1～3年生の間

場所 (番号を記入)	週当たりの希望日数 (数字を記入)
[]	週 [] 日くらい
[]	週 [] 日くらい
[]	週 [] 日くらい

（2）小学校4～6年生の間

場所 (番号を記入)	週当たりの希望日数 (数字を記入)
[]	週 [] 日くらい
[]	週 [] 日くらい
[]	週 [] 日くらい

【選択肢】

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自宅 | 2. 祖父母宅や友人・知人宅 |
| 3. 習い事（スポーツ、塾など） | 4. 放課後子ども教室★・広場 |
| 5. 放課後児童クラブ（学童保育） | 6. ファミリー・サポート・センター |
| 7. 放課後等デイサービス | 8. その他（公民館、公園など） |

問 24 問 23 の（1）または（2）で「5. 放課後児童クラブ」を選ばれた方にお伺いします。

（1）利用を希望する時間について、お答えください。

①「小学校1～3年生の間」で「5. 放課後児童クラブ」を選ばれた方（〇は1つ）

- | | | |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 1. 下校時から16時まで | 2. 下校時から17時まで | 3. 下校時から18時まで |
| 4. 下校時から延長時間（18時30分）までを利用 | | |

②「小学校4～6年生の間」で「5. 放課後児童クラブ」を選ばれた方（〇は1つ）

- | | | |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 1. 下校時から16時まで | 2. 下校時から17時まで | 3. 下校時から18時まで |
| 4. 下校時から延長時間（18時30分）までを利用 | | |

問 25 問 23 の（１）または（２）、小学校就学後の放課後の過ごし方で「５．放課後児童クラブ」を選ばれた方にお伺いします。

土曜日と日曜日・祝日、長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中のそれぞれについて、枠内の選択肢の中から選び、その番号を１つだけ記入）

①利用希望		(1) 土曜日 (○は1つ)	(2) 日曜日・祝日 (○は1つ)	(3) 長期休暇中 (○は1つ)
1. 利用希望はない → 問26へ		1	1	1
2. 低学年（１～３年生）の間は利用したい		2	2	2
3. 小学生（１～６年生）の間は利用したい		3	3	3
①利用希望で「２」「３」を選ばれた方は、 利用開始時間と利用終了時間について お答えください		(1) 土曜日 (それぞれ○は1つ)	(2) 日曜日・祝日 (それぞれ○は1つ)	(3) 長期休暇中 (それぞれ○は1つ)
②利用開始 時間	1. 午前中	1	1	1
	2. 12時から15時の間	2	2	2
	3. 15時から17時の間	3	3	3
③利用終了 時間	1. 午前中	1	1	1
	2. 12時から15時の間	2	2	2
	3. 15時から17時の間	3	3	3
	4. 17時以降	4	4	4

封筒のあて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問 26 この１年間に、保護者の用事などにより、封筒のあて名のお子さんを泊まりがけで預けなければならぬことはありましたか。（○は１つ）

1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む）	→ 問26-1へ
2. なかった	→ 問27へ

問26-1 問26で「１」を選ばれた方にお伺いします。 ←
この１年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。（①は○はいくつでも。②は日数を記入）

①対処方法（○はいくつでも）	②日数（数字を記入）
1. （同居者を含む）親せき・知人に預けた	年間 [] 泊くらい
2. 子育て短期支援事業（ショートステイ）★を利用した	年間 [] 泊くらい
3. ２以外の保育サービスを利用した	年間 [] 泊くらい
4. 仕方なく子どもも同行させた	年間 [] 泊くらい
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間 [] 泊くらい
6. その他（ ）	年間 [] 泊くらい

すべてのお子さんについて、子育て支援サービスの認知度・利用度をお伺いします。

問 31 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス名	担当課	(1) 知っている	(2) これまでに利用したことがある	(3) 今後利用したい
①家庭児童相談担当（市役所）の育児相談	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②保健センターの育児相談や各種教室		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③子ども家庭センター（大阪府）の育児相談		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④青少年児童センター		はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥市が発行する子育て便利MAP	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦養育支援訪問事業	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧病児・病後児保育事業	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨子育てサロン	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪子育て支援センター・つどいの広場*	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫小児夜間急病診療*	保健センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬はびきの子育てネット*	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑭乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）*	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑮一時預かり事業	こども課	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑯ダルビッシュ有「子ども福祉基金」*	こども課	はい・いいえ	—	—

問 31-1 問 31 の子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。（○は1つ）

1. 入手しやすい 2. 入手しにくい 3. どちらともいえない

封筒のあて名のお子さんの生活習慣についてお伺いします。

問 32 お子さんの生活習慣についてお答えください。（それぞれ○は1つ）

(1) 朝ごはんを食べますか。

1. 毎日食べる 2. 食べる日のほうが多い 3. 食べない日のほうが多い 4. ほとんど食べない

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

1. する 2. しない

(3) 平日のテレビ・ビデオ・ゲーム等の1日当たり平均視聴時間は何時間ですか。

1. 30 分以内 2. 1 時間以内 3. 1 時間 30 分以内
4. 2 時間以内 5. 2 時間以上

(4) 就寝時刻は何時ですか。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 20 時半より前 | 2. 20 時半～21 時 | 3. 21 時～21 時半 |
| 4. 21 時半～22 時 | 5. 22 時～23 時 | 6. 23 時以降 |

ご家庭のすべてのお子さんについて、行政サービスへの要望をお伺いします。

問 33 行政（羽曳野市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。（〇はいくつでも）

1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の園庭開放を充実する
3. 親子が安心して集まれる集いの場等の屋内の施設を整備する
4. 子ども連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預けることができる施設を増やす
10. 幼稚園の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する
11. 誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による教育・保育サービスの支援を行う
12. 安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
16. 公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他（ ）
18. 特になし

ご家庭のすべてのお子さんについて、子育てを支援する生活環境の整備についてお伺いします。

問 34 封筒のあて名のお子さんとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
5. 授乳する場所や必要な設備がない
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない
7. 買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない
8. 緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとuringおいがない
9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
10. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない
11. その他（ ）
12. 特になし

問 35 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問 36 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である | 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である | 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない | |
| 10. 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない | |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である | |
| 12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない | |
| 13. その他（ ） | |
| 14. 特に感じることはない | |

ご家庭のすべてのお子さんの育ちをめぐる環境についてお伺いします。

問 37 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問 38 子育てや子どもの教育について、気軽に相談できる人や相談の場所がありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる／ある → 問38-1へ | 2. いない／ない → 問39へ |
|-------------------|------------------|

問 38-1 問 38 で「1」を選ばれた方にお伺いします。
気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 配偶者 |
| 2. ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族 |
| 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 |
| 5. 地域子育て支援拠点、児童館★などの子育て支援施設・NPOなどの子育て支援団体 |
| 6. 子どもの健診などを行ってくれる保健センター |
| 7. 保育士（保育所） |
| 8. 幼稚園教諭（幼稚園） |
| 9. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 10. かかりつけの医師 |
| 11. 子育て相談窓口（市役所） |
| 12. 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 13. キンダーカウンセラー（子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等） |
| 14. スマイルサポーター（私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員） |
| 15. コミュニティソーシャルワーカー★ |
| 16. その他（ ） |

子育て全般についてお伺いします。

問 39 あなたは、近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。（〇は1つ）

1. いる

2. いない

問 40 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。（〇は1つ）

1. 楽しいと感じることの方が多い

2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい

3. つらいと感じることの方が多い

4. わからない

5. その他（ ）

→ 問40-1へ

→ 問41へ

問 40-1 問40で「1」～「3」を選ばれた方にお伺いします。

あなたは、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。（〇は3つまで）

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）

2. 保育サービスの充実

3. 子育て支援のネットワークづくり

5. 訪問型の支援サービスの充実

7. 子どもの教育環境

9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備

11. 援護を要する子どもに対する支援

4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）

6. 健やかな妊娠・出産に関する支援

8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

12. その他（ ）

問 41 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。（〇は1つ）

1. 現在参加している

2. 現在参加していないが今後機会があれば参加したい

3. 現在参加しておらず今後も参加するつもりはない

→ 問41-1へ

→ 問42へ

問 41-1 問41で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。

自主的な活動をするにあたり、行政に行って欲しい支援は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 活動場所の提供

3. 活動時間中の保育サービス

5. 活動への保育に関する専門家からのアドバイス

7. 特になし

2. 情報発信やPR等への支援

4. 活動資金助成

6. その他（ ）

問 42 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。（〇は1つ）

1. 感じる

3. どちらでもない

2. 感じない

4. わからない

問 43 あなたが、子育てに関して日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(1) 子どもに関すること (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 病気や発育発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと | 4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと |
| 5. 子どものしつけ・教育に関すること | 6. 子どもの友だちづきあいに関すること |
| 7. 子どもの登所・登園拒否など | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

(2) あなたに関すること (○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと |
| 2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと |
| 3. 子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと |
| 4. 自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの目が気になること |
| 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと |
| 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと |
| 7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 8. 子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと |
| 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと |
| 10. 子育てにかかる出費がかさむこと |
| 11. 住居が狭いこと |
| 12. その他 () |
| 13. 特にない |

問 44 あなたは、ご自身の子育てが地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)

「1. 感じる」場合は、特に誰から支えられていると感じますか。「2. 感じない」場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。【選択肢】の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

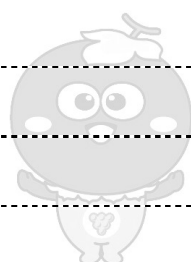
- | | |
|---------|-----------|
| 1. 感じる | 番号を選択 () |
| 2. 感じない | 番号を選択 () |

【選択肢】

※番号の選択はいくつでも

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 近所の人 | 2. 同じ世代の子どもを持つ保護者 |
| 3. 民生委員・児童委員や自治会、子ども会などの地域団体の人 | 4. 地域活動を行っているNPOなどの人 |
| 5. 幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員 | 6. 子育て相談窓口（市役所）の職員 |
| 7. その他 () | |

羽曳野市の子育て支援に希望することや、子育てで困っていることなどがありましたら、自由にご記入ください。



用語解説（五十音順）

預かり保育	保護者の仕事・病気のために家庭での保育が困難になった時に、幼稚園の就園時間終了後も子どもを一定時間幼稚園で預かる、保育サービスです。
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	児童を養育している家庭の保護者が、疾病や出産・育児疲れや経済的問題等で養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において一定期間、養育および保護することにより家庭の子育てを支援するサービスです。 羽曳野市内では、高鷲学園・羽曳野荘・太子乃園・南河学園で実施されている事業です。
コミュニティソーシャルワーカー	制度の狭間や複数の福祉課題をかかえる人や困りごとに対して、地域における見守り・発見・各種サービスへのつなぎの役割を担う人のことです。
児童館	遊びを通して、子どもの生活の安定と、子どもの能力の発達を援助していく施設です。
小児夜間急病診療	市立休日急病診療所で実施している、小児科の土曜・休日の夜間診療（午後6時から午後10時）です。
ダルビッシュ有 「子ども福祉基金」	プロ野球のダルビッシュ有選手や、一般の方からの寄付金をもとに、ダルビッシュ有文庫の開設など、子どもの福祉のために設立した市の基金です。
地域子育て支援センター	子育ての経験豊かな育児技術を持った専門の職員が、子育ての関係機関と連携しながら相談・支援・情報提供・子育てサークルの育成などさまざまな活動を行っています。ふるいち・むかいの・悲田院があります。
つどいの広場 (地域子育て支援拠点事業)	親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいの広場は、あいあい保育園・手をつなぐ子育て・カンナの3か所があります。
乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる事業です。
認可外保育施設	児童福祉法に基づく児童福祉施設として府の認可を受けていないが、保育所と同様の業務を行う施設です。運営主体は、NPO法人や個人等が主です。
認定こども園	小学校就学前の子どもに対する保育および教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設です。親の就労の有無にかかわらず利用できます。
はびきの子育てネット	羽曳野市が運営する、保育情報や子育て支援センターの事業紹介や保健センターの健診等のお知らせなど、子育てに関するさまざまな情報を総合的に受発信しているサイトです。
病後児保育	子どもが感染性の病気回復期やかぜ、腹痛などの軽い病気の「回復期」の状態にあるために保育園や幼稚園へ登園できず、さらに仕事や病気のために、家庭で看護することができないとき、市が補助をする団体でお子さんを預かり保育することです。
病児保育	子どもが感染性の病気回復期やかぜ、腹痛などの軽い病気にかかり、保育園や幼稚園へ登園できず、さらに仕事や病気のために、家庭で看護することができないとき、お子さんを預かり保育することです。市内にはありません。
ファミリー・サポート・センター	子育ての手助けをしたい人（協力会員）と手助けがほしい人（利用会員）を会員として組織化し、地域ぐるみで子育てを支援する活動をしています。子育て支援センターふるいちに事務局があります。
保育ママ	家庭的な雰囲気の中で、自宅を利用して少人数の子どもを保育する、保育サービスです。
放課後子ども教室	すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。
放課後児童クラブ(学童保育)	共働きなどで保護者が昼間、家庭にいない小学生を預かり、放課後、児童館や学校の空き教室などを利用し、遊びの場や生活の場を提供します。

ご協力ありがとうございました。この調査票は、**2月3日（日）までに**、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。
皆さんから頂いたご意見は計画にしっかりと反映させていただきます。